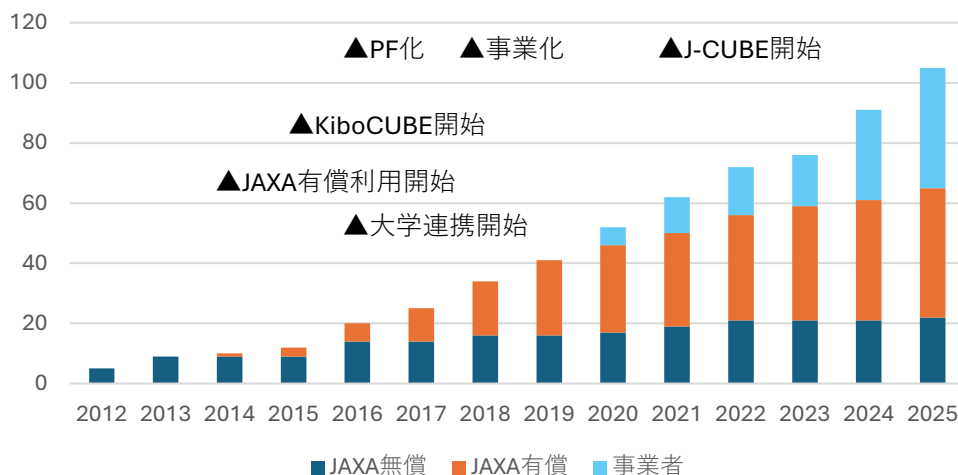


【PFの目的】

- ① ISSからの超小型衛星放出を通じた人材育成・技術実証機会の提供
- ② 国際貢献（国際プレゼンス向上）
- ③ 商業利用の促進

累積放出数（2025年度は見込み含む）



【達成状況】

- ① 人材育成・技術実証機会増加のために大学との連携や事業者制度を導入。国連やUNISECとの連携により国内外の人材育成を支援。
- ② 現時点で放出済みの99機のうち49機（約半数）が国外主体の衛星である（31の国・地域）。うち18機はその国初の衛星であり、国際プレゼンス向上に大きく寄与。
- ③ 事業者により利用者のすそ野が広がり、この2年で放出した衛星の大半は事業者衛星。JAXA有償利用と合わせると全体の8割が有償利用。事業者には、本事業を通して、ポストISS時代に向けての事業拡大、新規事業創出を行っていただく想定。

J-SSODの人材育成プログラム

Kibo CUBE

- 国連との共同プログラム
- 衛星開発の経験がない国に対して、1Uサイズの衛星の打上、放出機会を提供

J-CUBE (有償サービス)

- 日本の大学と協力の上、国内及び国際的に先進的な衛星の打上、放出機会を提供

Kibo CUBE Academy

- 衛星開発のライフサイクルに対する教育機会を提供
- 衛星開発経験が不足している国と日本の大学との関係構築に貢献

日本の協力による「きぼう」小型衛星放出機構からの衛星放出国（日本を除き31か国/49機）
(2025年9月22日現在)

